

# FIP IT BOX

## ASP&IDCニュース

Contents / March.2002

■ブロードバンド ビジネスとブロードバンド  
FIPのブロードバンドへの取組み  
～アプリケーションサービス～

発行日 2002年3月19日 第15号  
発行元 販売推進統括部 企画推進部  
東京都江東区青海2-45 タイム24ビル  
連絡先 03-5531-5120/info@fip.fujitsu.com  
URL <http://www.fip.fujitsu.com/>

富士通エフ・アイ・ビー株式会社

ブロード  
バンド  
Part 2

## ブロードバンドが創り出す新たなビジネス環境

～当社が提供するアプリケーションサービス～

ブロードバンドが私たちの日常生活にもたらすメリットについては、先月号で一部取上げました。一方、企業での利用という視点でとらえると、これらのメリット全てがビジネスと関わってきており、ブロードバンドという巨大市場におけるその可能性は無限大とも言えます。本号では、ブロードバンドのビジネス利用に焦点を当て、当社が提供するソリューションを中心にご紹介いたします。

### ビジネスとブロードバンド

#### さまざまな利用形態

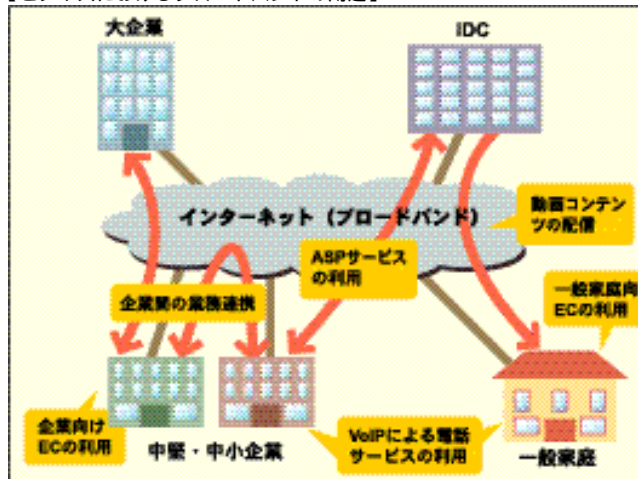
昨年は、CATVやADSLなどネットワーク系のインフラ整備が急速に進み「ブロードバンド元年」と言われました。しかしビジネスとしての利用は、まだ本格的に始まったわけではありません。

ブロードバンドの利用範囲は、自治体・医療・学校などの公共サービスや流通・製造・金融・科学技術などあらゆる分野に及びます。例えばEC（電子商取引）では、商品カタログに動画を交えたり、商品の調達などにこのブロードバンドが有効に活用できますし、さらに企業同士のブロードバンド接続が実現すれば、商品の開発過程での連携もより一層活性化していきましょう。

### FIPのブロードバンドへの取組み～アプリケーションサービス～

当社では、次ページの体系図のようにブロードバンドを支える様々なアプリケーションを取り揃えています。その体系は大きく二

【ビジネスにおけるブロードバンドの用途】



参考：日経コンピュータ 2001年10月15日号

つに分けられ、一つはアプリケーションや業種・業務を問わずに利用可能で主にWebサイトを運営していく上で必要な機能を提供する「基盤サービス(BSP<sup>\*1</sup>)」。そしてもう一つはこのBSP上で構築・運用する「業務アプリケーションサービス(ASP)」となっています。

\*1: Basic Service Provider

### 基盤サービス

BSPとして当社が提供するの、セキュリティ、性能、認証、そしてストリーミング(動画配信)やVoIP<sup>\*2</sup>(音声技術)などの共通基盤

サービスです。これら当社サービスの長は、グローバルスタンダードな強い技術力を持つ企業とのアライアンスをベースに、コンサルティングから構築・維持管理までを総合的に提供できる点です。

\*2: Voice over Internet Protocol

### <ストリーミング/VoIP>

現在、ブロードバンド用アプリケーションとして最も普及しつつあるのが、ストリーミングとVoIPです。従来の動画は、サーバから一旦クライアントにデータをダウンロードして再生する方式を採っ

ていますが、ストリーミング方式では、サーバが送り出すデータを順次クライアントで再生、つまりダウンロードしながら再生します。再生のリアルタイム性が実現できるため、最近ではインターネットによるコンサートの有料配信などに利用されています。

この分野ではマイクロソフト(株)のWindows Media Technologyが有名ですが、当社ではOSに依存せず、かつナローバンド(低速回線)でも提供可能な米国Eye Wonder Inc.の技術を用いたサービスを提供しています。

そしてもう一つのVoIPとは、インターネットなどのIP網を利用して電話機能を実現する技術です。企業システムのIP網の整備に伴い、内線電話のIP化など企業のコスト削減と業務効率化を図る手段として使われ始めています。

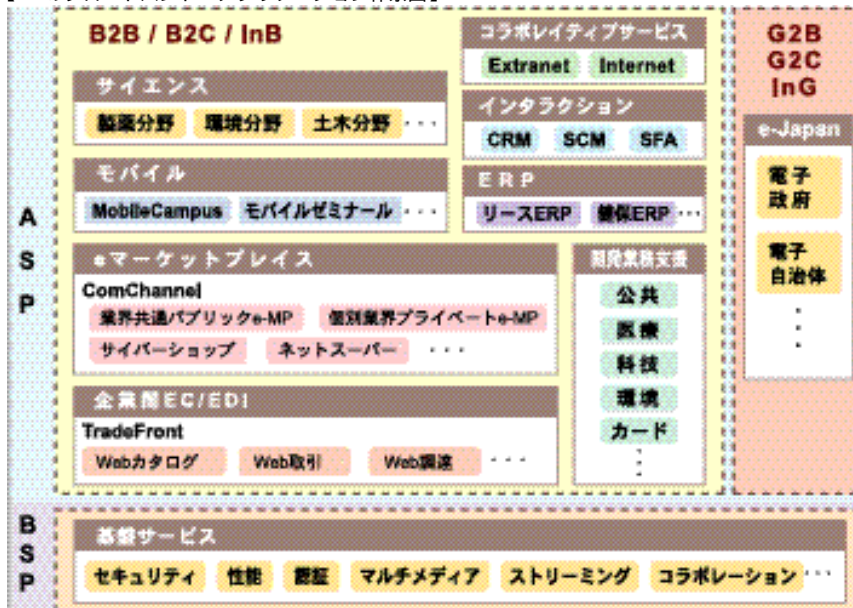
当社では、ECにおける音声サポート技術を提供する(株)ソフトフロントや、インターネットを使った同時教育「e-Learning」を提供するインターウィズ(株)など、VoIP分野での先進的企業と提携し、企業におけるワークスタイルの変革についてのソリューションを提供する予定です。

### 業務アプリケーションサービス

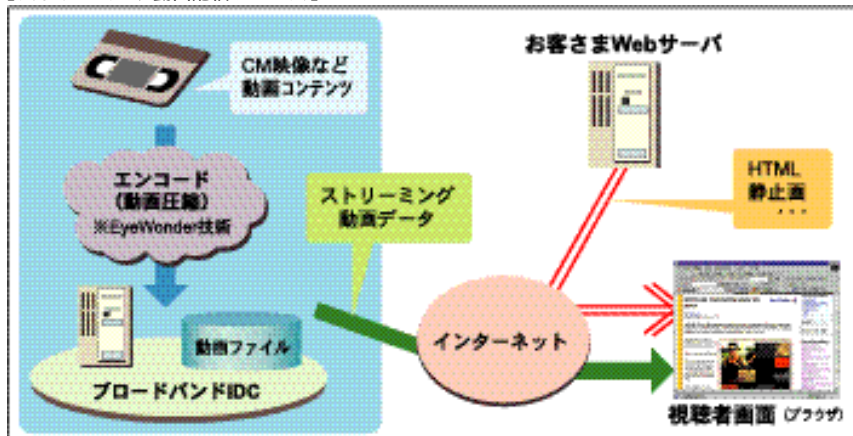
#### <公共分野>

政府や自治体を中心となってe-Japan構想が推進される中で、最も期待されているものの一つに「行政ポータル」があります。例えば引越しの場合、役所に出向いて住民票や転校など複数の窓口で手続きを行わなければならない、何かと手間がかかっています。

【FIPのブロードバンド・アプリケーション体系図】



【ストリーミング動画配信サービス】



そこで情報を一元管理し、引越しや結婚などある事象に関しての必要な行政手続きを一ヶ所で把握できるように仕組みが求められており、現実には整備されつつあります。これが「行政ポータル」で、住民はこのホームページ経由で殆どの手続きが自宅で済ませることができるようになります。

更にブロードバンドのメリットとして、インターネットにカメラを接続すれば、申請書の書き方などで分からない時など、役所の職員と双方向で会話しながら手続きができますので、より一層利便性を実感できるでしょう。

一方自治体では、税・福祉・水道など本庁や関連機関を含めて様々な行政業務が行われています。従来は庁内でシステムを運用したり、一部の処理を外部へ委託するなどの方法をとっていましたが、今後は運用負担の軽減や市民サービスの向上に注力するため、IDCやASPを利用するケースが増えてくるでしょう。

（住民税申告支援システム）

当社が提供する「住民税申告支援システム」は、確定申告時などに申告会場での受付業務を支援するシステムです。しかし現在提供しているクライアント/サーバ型のシステムは、ネットワーク設定が固定化されるため、会場の移設やパソコンの増減など臨機応変な対応は難しくなっています。

そこで、この課題を解決する手段として、ブロードバンドとASPの活用が有用となってきます。パソコンと回線があれば、住民数に応じて設置会場の移設も可能ですし、常に最新のシステムを利用で

きます。また業務の繁忙に応じて、選挙やe-Learningなど他の用途でこれらの設備を流用することも可能ですので、地域住民とのコミュニケーション向上にも一役買うことができるでしょう。

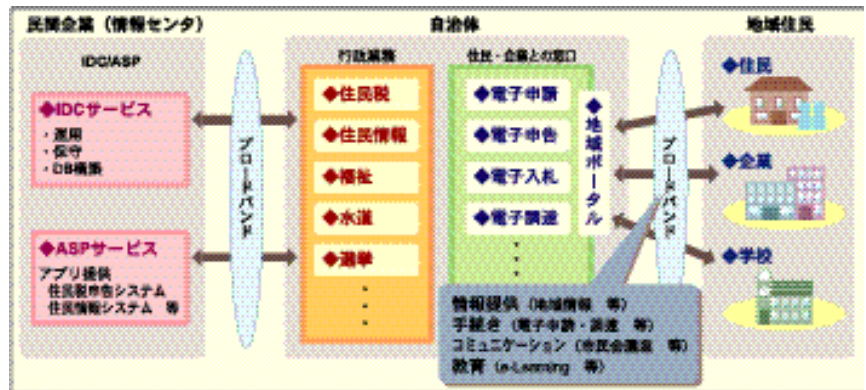
<流通分野>

流通業界でも、ブロードバンドは今まで困難であったサービスが実現できるものとして注目されています。まず第一に、オープンなネットワークへの対応です。従来から、FENICS<sup>\*3</sup>網の整備により業種ごとの様々な通信手順への対応や通信速度の高速化、通信機器コストの低減等、データの受け渡しにおいて発生するお客様のご要望にお答えしてまいりました。そし

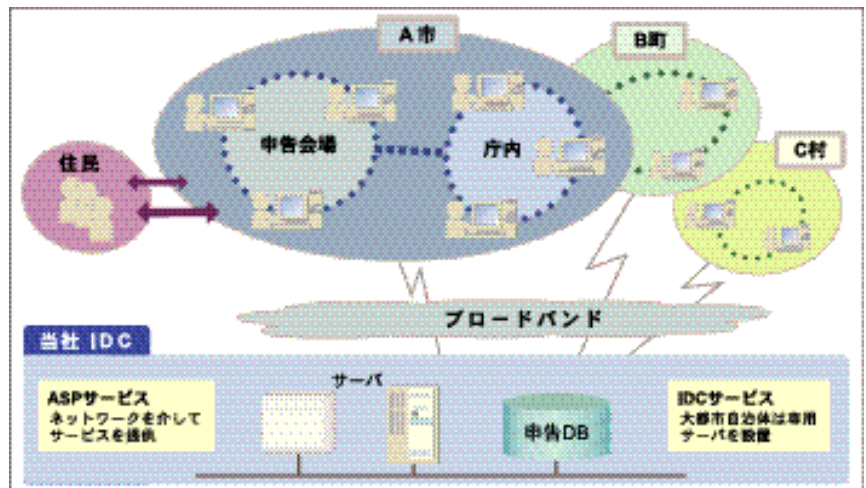
て今後は、TCP/IP<sup>\*4</sup>やFTP<sup>\*5</sup>などインターネット標準のオープンな手順が主流となってきますので、より一層、安価な通信インフラが手軽に構築できるようになります。

また第二に、今までデータ伝送やダウンロードなどの時間的な制約により実現が難しかった大容量の情報（売上実績、請求等）の伝送も可能となります。更に高速という利点において、動画や高品質画像の配信も可能となりますので、従来の写真など静止画のみの商品カタログだけでなく、動画を交えた表現力豊かな商品カタログを提供することもできます。

【自治体におけるブロードバンド化のメリット】



【ASP/IDCを利用した住民税申告支援システム】



（流通業務ソリューション）

当社の流通分野における取組みは、サイバーショップやeマーケットプレイスを中心とした「ComChannel」と企業間ECサービス「TradeFront」に大別されます。「TradeFront」は既に多くのお客様にご利用いただいておりますが、今後は両サービスの統合を図り、ブロードバンドサービスとしての基盤を確立してまいります。そして動画・音声等を駆使し、プロモーションや商談などEDI<sup>\*6</sup>の上流工程の機能拡充を図るとともに、商談から決済までの一連のEDIを整備・拡充させていく予定です。

\*3: 富士通が提供するネットワークインフラ

\*4: Transmission Control Protocol / Internet Protocol

\*5: File Transfer Protocol

\*6: Electronic Data Interchange

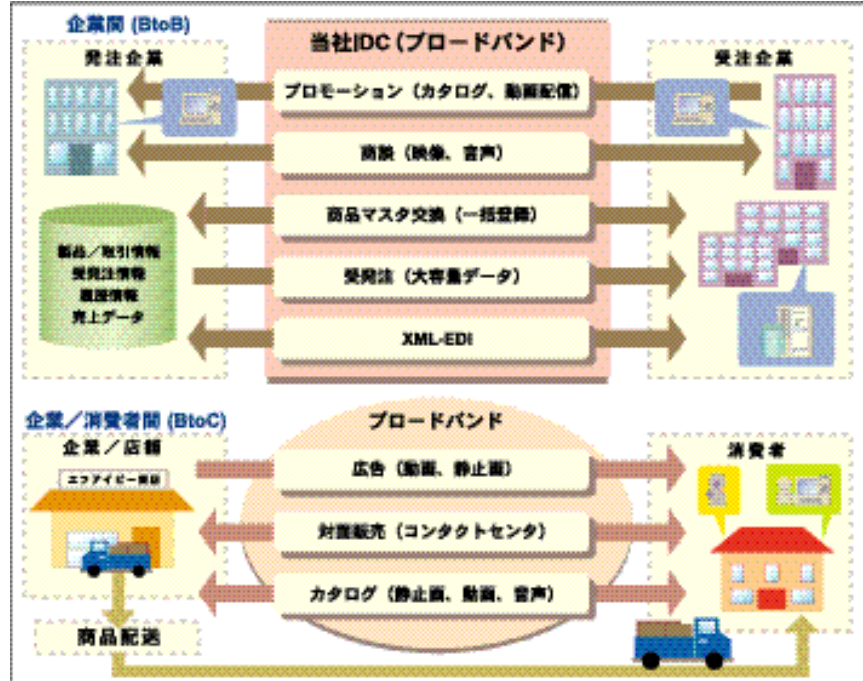
< 科学技術分野 >

ブロードバンドは、エンジニアなど技術系分野でも注目されています。この分野では設計・評価・認可業務が分業化された産業構造となっているため、設計図面や設計モデルのデータが頻りにやり取りされており、また同じ条件内での設計を共同で行う場合は常に相手の作業状態を知る必要があります。従来はデータ量が膨大であるため、紙に印刷した図面やMO<sup>\*7</sup>などで相手にその情報を渡し、その都度打合せなどを行っていましたが、ブロードバンドはこれらの問題点を解決する手段として大きく期待されているのです。

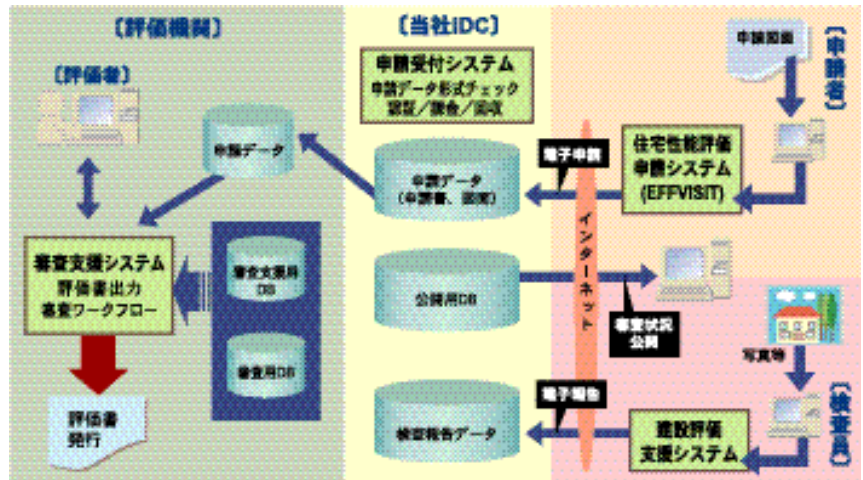
（住宅性能評価の電子申請）

2000年4月に住宅の品質確保と消費者の保護を目的とした「住宅の品質確保の促進等に関する法律」

【FIPの流通業務ソリューション】



【住宅性能評価の電子申請システム】



が施行されました。その後、住宅の性能について客観的に評価する機関が全国で約80ヶ所設立されましたが、当社ではその一つである(株)住宅性能評価センターと共同でインターネットによる電子申請システムを提供しています。住宅の性能評価申請には、大量の申請書類(100～150枚)の提出が義務付けられていますが、一連の申請業務の効率化を目的とした本シ

テムとブロードバンドの活用により、わずか数分で電子申請を行うことができます。

\*7: 光磁気ディスク

ブロードバンドは、数年後には企業や日常生活で不可欠なものとなってくるでしょう。当社では、e-Japan 構想と合わせ、快適なインターネット環境を享受できるようお客様の業務を支援いたします。